

航空防除農薬環境影響評価検討会報告書

平成9年12月

環境庁水質保全局

目 次

1 . はじめに	1
(1) 本検討会の目的	1
(2) 我が国の航空防除の現状	1
航空防除の実施時期及び回数	1
航空防除の実施地域	1
a . 地域の特徴	1
b . 散布区域の周辺等における人の活動	1
航空防除に使用される農薬の特徴	1
大気中における農薬の挙動	2
航空防除農薬散布時の気中濃度	2
2 . 安全性評価の基本的考え方について	2
(1) 担保すべき健康の範囲について	2
(2) 想定すべき健康影響の評価について	3
(3) 農薬の一日摂取量 (A D I) との関係について	3
(4) 感受性の高い人々への影響について	3
(5) 内分泌攪乱作用等の新たな毒性について	3
(6) 吸入曝露による影響を経口毒性試験結果からどのように評価するかについて	3
経口毒性試験成績から吸入毒性を推定する際の問題点	4
吸入以外の曝露経路について	4
混合製剤の毒性について	4
一般環境中における変化物の毒性について	5
3 . 気中濃度評価値の設定	5

4．個別農薬の気中濃度の評価	6
(1) ダイアジノン	6
(2) ピリダフェンチオン	6
(3) フェニトロチオン(MEP)	6
(4) マラチオン	7
(5) フェノブカルブ(BPMC)	7
(6) トリシクラゾール	7
(7) フラサイド	7
(8) ププロフェジン	7
(9) フルトラニル	7
(10) メプロニル	7
5．農薬の気中濃度の測定方法について	8
(1) 測定の基本的考え方について	8
(2) 測定地点等	8
(3) 測定地点及び測定期間・頻度	8
(4) 捕集方法	8
(5) 関連情報の把握	8
6．今後の検討課題	9
7．おわりに	9
航空防除農薬環境影響評価検討会委員名簿	10
航空防除農薬環境影響評価検討会開催状況	10
参考資料	11